

令和3年度事業報告書

当センターは、昭和58年開館以来、伝統的工芸品指定6産地をはじめ県内地場産業の振興拠点施設としての機能を有しており、効率的な事業運営を行いながら関連業界や地域と連携し、県内の伝統産業の普及拡大に努めてきている。令和2年10月に御旅屋セリオ2階において移転リニューアルオープンして1年半が経過し、この間、中心市街地の立地と公共交通機関のアクセスが良くなったことを活かすため各種PRに努めてきた。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の大きな波の中ではあったが、県内外の方々に伝統工芸品のPRを図るため10月の移転1周年記念イベントのほか、日本海高岡なべ祭りと同時期にZIBA伝統工芸祭りを開催し、全国の地場産センターから出品された地場産品等の販売や県内6産地のものづくり体験を実施した。また、関係団体の展示会や万葉線との連携イベントを開催し、ZIBAショップへの集客やにぎわい創出を図った。

施設利用状況としては、コロナ禍であったこともあり個人や家族単位での来館が多くみられたほか、移転により高岡古城公園や高岡大仏、金屋町などの観光スポットが徒歩圏内となり、県内の小・中学校が校外学習において高岡を巡る学習とともに伝統工芸を学ぶ場として当センター施設を活用していただけた。

また、移転に伴い新たに設けた撮影スタジオのST@R ZIBA（スタジーバ）は、伝統的工芸品に関連する企業の方々が新商品の写真撮影や県外企業とのオンライン対談などの新たな販路開拓や情報発信として活用されており、今後のスタジーバの運営について安定的継続を図るため、利用の有料化の試みを令和3年10月からスタートさせた。

主な資金収支の内容としては、新型コロナウイルス感染拡大により人出が少ない期間もあったものの、販売業務収入は34,708千円で対前年23,828千円に対し、10,880千円の増収となった。販売業務収入については、大口の特別注文があったほか、前年度同様ふるさと納税の返礼品が好調であった。また、ものづくり体験の参加料収入についても対前年度2,069千円の増収となり、事業活動収入計は126,291千円、事業活動支出計が123,593千円で事業収支差額は2,699千円となった。

そのほか、投資活動支出として706千円を計上し、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を合わせた当期収支差額は1,993千円となり、前期繰越収支差額14,542千円を加えた次期繰越収支差額は16,535千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1)高岡地域地場産業センター設置管理事業

適宜施設清掃等を行い、より利用しやすい施設維持を行った。

(2)施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行う団体が利用するミーティングルームやものづくり体験工房（鋳物、漆器）等の諸室について管理を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1)販路開拓事業

伝統工芸品産業支援事業を活用し、各伝統的工芸品産地から出展希望事業者を募り、全国的な見本市である「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2022 第 11 回 LIFE×DESIGN」へ出展した。当初は 12 社（銅器 10 社、漆器 1 社、越中和紙 1 社）が出展予定だったが、新型コロナウイルスの感染者数の増加のため調整を余儀なくされ、最終的に 6 社（銅器 5 社、漆器 1 社）の出展となったが、急遽出店を中止した企業へ来訪するお客様に対して出展企業同士が協力して対応にあたり、普段と変わらない程度の商談、PR に繋げることができた。

「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2022 第 11 回 LIFE×DESIGN」

- ・期 間 令和 4 年 2 月 8 日(火)～10 日(木)
- ・場 所 東京ビックサイト東展示棟 東 4 ホール
- ・出展企業 高岡銅器 5 社、高岡漆器 1 社 合計 6 社

(2)地場産業品普及事業

①全国の地場産業振興センター等が開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに高岡地域の伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、地場産品の PR を行った。

「燕三条じばさん感謝祭 2021」への出展

- ・期間 令和 3 年 12 月 3 日(金)～5 日(日)
- ・場所 燕三条地場産業振興センター 1 階多目的大ホール

②観光関連事業への参加協力

新型コロナウイルス感染症の影響により観光関連事業が中止となり、参加協力できなかった。

③高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

展示販売場において、季節に合った伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。

ア 端午の節句、御車山祭り、母の日、春商品の展示

- ・期間 3月5日～
- ・主な商品 兜飾り（高岡銅器）、鯉のぼり（越中和紙）など

イ 父の日、夏商品の展示

- ・期間 6月17日～
- ・主な商品 風鈴（高岡銅器）、新作染め菅笠（越中福岡の菅笠）など

ウ 秋商品の展示

- ・期間 8月22日～
- ・主な商品 新作仏具（高岡銅器）など

エ 冬商品、クリスマス、お正月商品の展示

- ・期間 10月12日～
- ・主な商品 干支置物（高岡銅器、越中和紙、越中福岡の菅笠）
お正月商品（高岡漆器、庄川挽物木地）など

オ 桃の節句、春商品の展示

- ・期間 2月6日～
- ・主な商品 雛飾り（高岡銅器、高岡漆器、井波彫刻、越中和紙、庄川挽物木地）など

カ 端午の節句、御車山祭り、母の日、春商品の展示

- ・期間 3月5日～
- ・主な商品 兜飾り（高岡銅器）、鯉のぼり（越中和紙）など

④他のイベントと連携した特別販売の実施

当センター以外の団体が主催するイベントに合わせて開催した当センターのイベントでは、ZIBA 展示場同フロアにあるイベントスペースにおいて伝統的工芸品の特別販売を企画し、普段展示場では紹介できない商品も多数取り揃えて新たな魅力を紹介した。

⑤「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営

山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを運営し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。

※富山アラート3の発令により令和3年8月18日～9月26日の期間は臨時休業。

⑥イオンモール高岡西館「T. OCUL」の運営協力

(株)ジェック経営コンサルタントが運営するイオンモール高岡西館「T. OCUL」に協力をを行い、県内地場産品の普及に努めた。

(3)来館者誘致事業

御旅屋セリオ2階へ移転リニューアルしたことを広く周知するため、メディア等に対して情報提供を積極的に行い来館者の誘致に努めた。新高岡駅の新高岡駅観光交流センターGALLERY MONONO-FUや高岡御車山会館ギャラリーショップに当センターのポスターやチラシを掲示するなど、3施設間相互の誘客に努めた。

(4)地場産業情報提供事業

①HP等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページを活用し、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるよう情報発信に努めた。

②高岡地域地場産業センター展示スペース等を利用した情報提供

事務室前通路等に伝統工芸PRパンフレットを設置し情報発信を行ったほか、ZIBAショップ内の展示スペースを活用し、新商品開発の発表などの企画展示を実施した。
令和3年8月26日～9月7日 第51回高岡漆器展示会(伝統工芸高岡漆器協同組合主催)

③産業資料館を活用した県内地場産品の情報提供

県内の伝統的工芸品の歴史や製造工程をパネルで紹介する産業資料館を活用し、県内6産地の伝統的工芸品のPR、普及を図った。

④御旅屋セリオからの情報発信

イベントや商品の案内だけでなく、ものづくり体験に来られたお客様の体験の様子や、実施したイベントの様子を当財団のHPやSNSで発信し、お客様に身近に感じてもらえるような情報発信に努めた。撮影スタジオST@R-ZIBAは、地場産業企業を中心に各社のECサイトに掲載する商品写真の撮影に活用された。当財団のオンラインショップ商品もST@R-ZIBAで撮影し、サイトの充実、改善に取り組んだ。

3 人材育成事業

(1)青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、産業資料館を活用し、小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援した。令和3年度の体験実習は、793人(昨年457人)であった。

①「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示販売所、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。令和3年6月11日

を初回に、年間 12 日間にわたって延べ 9 校が体験実習した。

ア 鋳物の体験（鋳の鋳込みを実習）

・小学 6 年生 9 校（540 名）

イ 漆器の体験（螺鈿貼りを実習）

・利用なし

ウ 産業資料館、ZIBA の見学

・小学 5 年生 7 校（253 名）

②教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1 講座 2 日（6 時間）の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々 1 講座開催した。

鋳物体験講座受講者数 12 名。漆器体験講座受講者数 12 名。

・漆器体験講座 令和 3 年 7 月 27 日(火)、8 月 3 日(火) 午前 9 時～12 時

・鋳物体験講座 令和 3 年 7 月 27 日(火)、8 月 3 日(火) 午後 1 時半～4 時半

(2)工芸技術体験普及事業

高岡市民はもとより広く工芸技術を体験できる機会を提供し、鋳物・漆器・特別体験に合わせて 1,276 人の利用があった。なお、令和 3 年 8 月 17 日～9 月 12 日、令和 4 年 1 月 24 日～2 月 28 日の期間は、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により鋳物体験、漆器体験の受入れを中止した。

・鋳物体験（ミニ水盤、ぐいのみ）	463 人(昨年度 335 人)
・漆器体験（ペンダント、ミニパネルなど）	156 人(昨年度 159 人)
・特別体験	
朱塗りスプーンへの絵付け体験	85 人
菅コースター体験	104 人
移転周年イベント 6 産地体験	284 人
なべ祭りイベント 6 産地体験	86 人
イオン高岡イベント 2 産地体験	98 人

(3)産学官連携事業

富山大学芸術文化学部と連携し、これまで以上に親しみやすい施設となるよう企画展示を開催した。企画展示では、学生がセレクトする商品や産地などを若い目線での魅力をポップで紹介した。また、新たな情報発信として ST@R-ZIBA を活用して企画展示を紹介するサイネージを作成し広く紹介した。

・ZIBA 伝統工芸まつり（高岡銅器、高岡漆器）

日程 令和4年1月15日、16日

会場 御旅屋セリオ2階 イベントエリア

展示内容 ①食卓を彩る工芸品の特設販売

②大鍋のフォトコーナー

・ZIBA 伝統工芸まつり（越中福岡の菅笠）

日程 令和4年3月19日～21日

場所 御旅屋セリオ2階 イベントエリア

展示内容 ①菅笠の特設販売

②世界一の菅笠のフォトコーナー

③ペーパー菅笠の学生公募作品の展示

4 地場産業支援事業

(1)商品開発支援事業

商品企画の継続・充実とその展開のため各販売施設における販売実績・POSデータを利用する独自の販売集計システムにより、販売実績を迅速に処理し、産地組合等へ販売情報を提供した。また、ZIBA展示場のPOS管理データを活用し消費者ニーズ分析を行い業界へのマーケティング支援として情報提供した。

(2)産業支援事業

①事務運営による団体支援

ア 高岡地域文化財等修理協会

総会、部会長会議の開催や販路開拓事業、文化財修理等における事業に対して事務支援を行った。

イ 富山県伝統工芸士会

総会、役員会、正副会長会議の開催や富山県伝統工芸士展等の事業に対して事務支援を行った。

ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催等に対して事務支援を行った。

②団体に対するその他の支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

高岡の伝統産業（技術・作品等）を発信・PRする第27回『くらしに生きる伝統のかほり展』を支援した。

・期間 令和4年2月26日(土)～3月5日(土)

- ・場所 1970 西織ビル 4 階（高岡市守山町 35）
- ・内容 「高岡伝産デザインマッチング」成果物展示
会員企業の製品・技術に関する展示

イ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業実施に対して支援した。

（ア）「高岡漆器展示会」の開催

- ・期間 令和 3 年 8 月 26 日(木)～9 月 7 日(木)
- ・場所 (公財) 高岡地域地場産業センター

（イ）「第 56 回全国漆器展」への出展

- ・期間 令和 3 年 9 月 17 日(金)～9 月 30 日(木)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主催 日本漆器協同組合連合会、(一社) 日本漆工協会、(一財) 伝統的工芸品産業振興協会

（ウ）伝統工芸青山スクエア常設展

- ・期間 令和 3 年 4 月 1 日(木)～令和 4 年 3 月 20 日(日)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア

（エ）伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- ・期間 令和 3 年 11 月 26 日(金)～11 月 29 日(月)
- ・場所 愛知県

ウ 高岡巧美会

伝統的工芸品である高岡銅器・高岡漆器への理解と普及を図るため、消費地である東京にて開催する「ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！高岡の伝統工芸品展」に対して支援した。

- ・期間 令和 4 年 1 月 21 日(金)～27 日 (木)
- ・場所 伝統工芸青山スクエア（東京都港区）

エ 工芸都市高岡クラフトコンペ実行委員会

地場産業と全国のデザイナー・クリエイターの交流をはかり、新たな産業の育成や異業種との連携を促すことなどにより伝統産業の振興を目的としたクラフトコンペティションに対して支援した。

- ・期間 令和 3 年 10 月 22 日(金)～24 日(日)
- ・場所 御旅屋セリオ 2 階特設会場

オ 富山県伝統工芸士会

富山県内の伝統的工芸品の伝統工芸士が制作する作品の展示をすることにより、伝統工芸の技術と魅力を伝え、また新たな作品作りへの情報収集の場とすべく開催する第24回富山県伝統工芸士展事業に対し支援した。

- ・期間 令和3年8月5日(木)～10日(火)
- ・場所 御旅屋セリオ2階 正面エレベータ前スペース

カ 富山県伝統産業協議会

小・中学生を対象に、伝統的工芸品の製作技術や手作り品への愛着を将来に向けて継承していくため、伝統的工芸品の制作体験をとおり、理解や興味を深めてもらうことを目的とした事業に対して支援した。

(ア) 銅器に親しむつどい

- ・開催日 令和3年12月18日
- ・場所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房鋳物
- ・内容 「錫製バングル」の製作

(イ) 漆器に親しむつどい

- ・開催日 令和3年8月7日
- ・場所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房漆器
- ・内容 青貝塗り加飾の体験(小箱)

(ウ) 井波彫刻の体験教室

- ・開催日 令和4年2月2日
- ・場所 井波彫刻総合会館
- ・内容 干支木札の体験を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、体験事業は中止し、親子で会館へ来場してもらい井波彫刻の伝統技術や歴史をPRした。

(エ) 庄川挽物木地の体験教室

- ・開催日 令和3年10月4日
- ・場所 砺波市立庄川小学校
- ・内容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

(オ) 越中和紙の体験教室

- ・開催日 令和3年7月21日～12月10日
- ・場所 五箇山和紙の里、桂樹舎、夢創塾、あさひ野小学校、蛭谷自治会館 和紙伝統室
- ・内容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

(カ) 越中福岡の菅笠の体験教室

- ・開催日 令和4年1月18日

- ・場所 高岡市立福岡中学校
- ・内容 豆笠の製作体験

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

旧施設において営業中の入居者に対し、必要とする範囲の貸付けを行った。

2 一般品目販売事業

施設利用者の利便に供するような飲料品や観光土産品等、公益目的には合致しない商品については、展示場販売額の1割を目安に取り扱いを継続した。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1)理事会

ア 第31回理事会(書面)

- ・開催日 令和3年4月1日(木)
- ・議案 副理事長(代表理事)の選定について

イ 第32回理事会

- ・開催日 令和3年5月18日(火) 午後1時30分～2時10分
- ・議案 令和2年度事業報告について
令和2年度収支決算の承認について
定時評議員会への議案提出について
- ・出欠 理事 出席9名、欠席2名
監事 出席2名

ウ 第33回理事会(書面)

- ・開催日 令和3年6月4日(金)
- ・議案 理事長(代表理事)の選定について
副理事長(代表理事)の選定について
専務理事(業務執行理事)の選定について

エ 第 34 回理事会(書面)

- ・開催日 令和 3 年 7 月 12 日(月)
- ・議案 理事長(代表理事)の選定について

オ 第 35 回理事会

- ・開催日 令和 4 年 3 月 28 日(月) 午後 2 時 00 分～2 時 35 分
- ・会場 高岡地域地場産業センター ミーティングルーム
- ・議案 令和 4 年度伝統産業支援事業助成金の審査・選考について
役員報酬規程の改定について
令和 4 年度事業計画について
令和 4 年度収支予算について
資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・出欠 理事 出席 10 名、欠席 1 名
監事 出席 1 名、欠席 1 名

(2)評議員会

ア 第 1 回評議員会(書面)

- ・開催日 令和 3 年 4 月 1 日(木)
- ・議案 役員の選任について
評議員の選任について

イ 定時評議員会

- ・開催日 令和 3 年 6 月 4 日 (金) 午前 10 時 30 分～11 時 03 分
- ・議案 令和 2 年度(公財)高岡地域地場産業センター収支決算について
評議員改選に伴う選任について
役員改選に伴う選任について
- ・報告事項 令和 2 年度(公財)高岡地域地場産業センター事業報告について
- ・出欠 出席 7 名、欠席 4 名

ウ 第 2 回評議員会(書面)

- ・開催日 令和 3 年 7 月 12 日 (月)
- ・議案 役員の選任について

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換を行った。

(1)書面総会

- ・開催日 令和 3 年 7 月
- ・議案 令和元年度事業報告及び収支決算について、監査報告

令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

令和2年度事業報告及び収支決算について、監査報告

令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

令和2年度・3年度会費の変更について

令和4年度「全国のええもんうまいもんフェア」の開催について

役員を選任について

次期総会開催地の決定について

- ・協議事項 ネット通販事業の拡充について

アフターコロナでの事業・運営面の変更とデジタル化の推進について

財団の経営状況について

新型コロナウイルスに終息が見通せない中での新たな取り組みについて

コロナ禍における行政などの支援策について

- ・報告事項 令和3年度物産展調査について

令和3年～4年度幹事センターについて